

2011年(平成23年)9月5日(月曜日)

# 破損ゼロをめざし情報共有

## ダイセイ 倉庫運輸 協力会社と物流協議会開く

ダイセイ倉庫運輸(吉田馨三社長、愛知県小牧市)は、8月26日、パートナーシップ物流協議会を開催。全国の協力会社から40人が参加し、トラック荷台の養生などについて研修した。アセット第1事業部の蒔田輝雄部門長が「今年も下期に入った。現場の積み込み養生を見てもらい、持ち帰って、ぜひドライ

バーに伝えてもらいたい」とあいさつ。同協議会は、品質向上の一環として年数回開催している。今回は大震災で被災した会員会社もおり、今年度初の開会となった。初めに誤納入トラブル事例について、荷主の担当者が報告。製品表示と確認書の内容を確認せずに張り付け、誤出荷になったケース

を紹介対策として伝票を重視し、必ず現物と照合して確認することの徹底を図った。同社では、重大事故、ヒヤリハット、重大破損、軽微破損の4段階に分け、見える化を行っている。こうした軽微破損をなくすため、製品の養生を重視。今回は、同事業部の物流センター内で様々な

「まきくれ」のある素材で包装された製品の養生では、ベニヤ板に段ボール紙やシートをかませて保護。トラックのアオリにできるまで商品が破損しないよう、アオリにもシートや段ボールを積み込んで、商品を保護する方法などを公開した。現場パトロールの結果も報告。車内清

掃、油漏れ対策の徹底、キャビンからの飛び降り禁止など、労働災害防止の注意事項などを確認した。蒔田部門長は「押し付けで100%直すわけはない。情報を共有し、一緒に考えていきたい」と語った。(戸嶋雪子)



協議会では現場パトロールの結果も報告